

会議議事録

会 議 名	第 3 回学校関係者評価委員会	
開 催 日 時	平成 28 年 2 月 27 日（土） 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	彰栄保育福祉専門学校本館 会議室	
参 加 者	外 部 員	参加者 4 名 児島 康夫 川越キングス・ガーデン 理事 鈴木 一伸 ニツ橋あいりん幼稚園 副園長 齋藤 洋子 彰栄学園 評議員・卒業生 阿川 裕孝 小・中学校校長 OB
	内 部 員	参加者 4 名 帆苅 猛（理事長・校長）、加藤 啓（校長補佐）、 芦野 裕一（事務局長）、堀越 弘二（広報）
		欠席者 1 名 山本 慎介
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ●2015 年度 第 3 回学校関係者評価委員会プログラム ●自己点検・自己評価報告書（修正点）について ●退学者数推移（2014・2015 年度） ●受験者数推移（2016 年度～） ●教育環境について 	

会 議 録

1. 校長挨拶（帆苅）
開会の挨拶
2. 委員長挨拶（児島）
児島先生から、挨拶。
3. 平成 26 年度 自己点検・自己評価について
配布資料について説明をおこなった。
 - ①自己点検・自己評価報告書の修正点について（堀越）
 - ②教育環境について、実績報告（堀越）
 - ③退学者数について、今年度の状況報告（堀越）
 - ④受験者数について、今年度の状況説明（堀越）
4. 委員からの質疑、評価
別紙参照
5. 次年度、委員継続のお願い
6. 今後の日程について
来年度のスケジュールの提案。

2016年6月18日（土）	2016年度第1回委員会開催
2016年9月17日（土）	2016年度第2回委員会開催
2017年2月25日（土）	2016年度第3回委員会開催
7. 閉会

各評価項目の質疑応答について

1. 学校関係者評価について

①重点目標の実績報告

2014年度・2015年度の重点目標である購入備品・教室改修の実績報告

- 1) 介護福祉科・介護福祉専攻科にて使用する備品として、・吸引シミュレータ・小型吸引器・経管栄養シミュレータ・AED トレーニングセット・男女入浴介助モデルを撮影した資料にて報告。
- 2) 4号館講堂の椅子220脚・台車6台を撮影した資料で報告。
- 3) 2号館3階230教室、2号館2階220教室、6号館への通路へ庇を設置、学生通用門の扉の改修を写真資料にて報告。

介護福祉科や介護福祉専攻科が授業等で使用する吸引シミュレータなどを学校見学に来た学生に見せてはどうか。また一般の人が触れることのない機器を使いこなせるというのは自信にもなるので、是非アピールをしてほしい。(小島)

*学校見学に来た時などは難しい場合もあるので、入試説明会の時などに展示をし、説明をしていくようにする(芦野)

吸引シミュレータなどの備品はそれぞれ何台ずつあるのか。(鈴木)

*吸引シミュレータは3台、小型吸引機は2台、結管栄養シミュレータは2台、AED トレーニングセットは2台、男女入浴介助モデルは2台となっている(加藤)

②退学者数について

2014年度と2015年度2月までの現状を説明

2014年度は見学者数が大幅に増えた。その2014年度より2015年度2月現時点の数値の方が増加している。

2014年度：10.8%に対して2015年度：12.2%となっている。

退学者の主な理由は。(阿川)

*書類上では、進路変更が一番多く、次に家庭の事情となっている。学生に事情を聞くと進路変更では、他にやりたい事が出来た、嫌になった、今後については決めていないなどとなっている。家庭の事情では、経済的な事が多い。本校では300数名の学生に対して112名が何かしらの奨学金を借りて来ている。一番多いのは学生支援機構。その他に東京都保育士修学資金や介護福祉士修学資金、生命保険協会介護福祉士養成修学資金などを借りている学生もいる。(加藤)

介護では施設などで奨学金をそれぞれの現場で行なっているところもある。(小島)

*今は奨学金を借りている学生でも辞めてしまう。またアルバイトをしている学生も多くいて、勉強とアルバイトでどちらが本業か分らなくなる学生もいる(加藤)

現在のグラフだと分りづらいので、全体に対して AO・推薦・一般の割合を出し、更にそれぞれの退学者を入れた二重の円グラフにして表した方が分り易い。(阿川)

*次回より二重の円グラフにて作成して提出します(堀越)

③受験者数について

2014年度と2015年度2月までの現状を説明

不合格率は受験者数が減っている事もあり、2014年度より2015年度の方が減っている。

推薦入試の不合格率が年々上がっているのは。(阿川)

*推薦入試の中には、学校推薦と自己推薦の両方が含まれている。また評定平均の低い生徒が、受験をするケースが増えてきている(加藤)